

# 豊口 健 *Ken Toyoguchi Piano Concert 2010* ピアノマジック

<出演>

豊口 健 (pf) 杉田知子 (vln)  
飯田雅春 (b) 中嶋和哉 (tp)  
館山健二 (ds) 尾崎美千代 (vo)



豊口 健 Ken Toyoguchi (ジャズピアニスト・作曲家)

一曲を超えるレパートリーをもつ、北海道を代表するジャズピアニスト。  
様々な楽曲を「独自のジャズアレンジ・ピアノマジック」で演奏を行い、  
ジャズ音楽の楽しさ、素晴らしさを伝えている。

〔I部〕 豊口健の世界

オリジナル、ジャズスタンダード他、映画音楽、  
ビートルズなどの名曲を独自のジャズアレンジ  
"ピアノマジック"で演奏するプログラム。

〔II部〕 ジャズ「ボーギー&ベス」組曲

アメリカ音楽の祖とも呼ばれるG. ガーシュイン  
が黒人社会の風俗を描いた1935年の発表作、  
フォークオペラ「ボーギー&ベス」を豊口健の  
アレンジで、ピアノトリオにボーカル、バイオリン、  
トランペットを加えたメンバーで贈ります。

2010 **10.10** SUN OPEN 16:30  
START 17:00

**えぼあホール** 江別市大麻中町 26-7  
JR 大麻駅 徒歩3分  
Tel 011-387-3315

前売券 一般 3,000円 小学生 無料 (要保護者同伴・未就学児入場不可)  
学生 1,000円 \*全席自由・当日券一般のみ +500円

えぼあホール

JR 大麻駅

札幌発 大麻着

JR	16:03	→	16:18
時刻表	☆16:15	→	16:27
	16:23	→	16:43

JR 札幌駅から15分のコンサートホール  
(☆快速12分・普通20分/徒歩3分)

□チケット発売所 <江別> えぼあホール・中央公民館・野幌公民館・江別市民会館・江別グレシャムアンテナショップ <札幌> 大丸プレイガイド  
4プラプレイガイド・道新プレイガイド・札幌市教育文化会館・ヤマハ札幌店 <チケットぴあ> pコード 115-229 TEL0570-02-9999

主催 / 江別グロンアップミュージック (EGM) 共催 / 江別市教育委員会 後援 / 北海道文化財団・北海道新聞社 協力 / 札幌ビレッジボイス・Half Note  
製作 / K2 プロジェクト 音響 / Office KOTAKE お問い合わせ / TEL 090-6443-1802 (EGM) ・ <http://egmjazz.jimdo.com/>



豊口 健 Ken Toyoguchi  
(ジャズピアニスト/作曲家)

独学でジャズピアノをはじめ、北海道大学在学中より、札幌市内ライブハウス出演を重ねる。1982年、札幌教育文化会館小ホールで自己のコンサートを開催。23歳でホテルアルファ札幌「プレイボーイクラブ札幌」のハウスピアニストとなり、雪村いづみなど一流アーティストと共演する中で、幅広いジャンルのスタンダードソングを研究する。レパートリーは千曲を超え「1001」のニックネームがつく。歌伴ファーストコールピアニストであり、中本マリ、金子晴美、山岡美樹など人気ジャズシンガーとの共演多数。水橋孝 (b)、大坂昌彦 (ds) など国内トップジャズメンの他、エド・シグベン (d)、カーティス・ランディ (b) ら海外一流プレイヤーとも共演。2004年、渡辺淳一文学館で「豊口健ピアノマジックコンサート」開催。以降毎年開催し、秋恒例のコンサートとなる。現在は「ハーフノート」ハウスピアニスト兼プロデューサーとして活躍する他、黒岩静枝 (vo)、宮田あやこ (vo) などのバンドとそのアレンジも担当する。また、加奈崎芳太郎 (元古井戸)、新田昌弘 (津軽三味線) とのジョイントなど、ジャンルを問わず幅広く手腕を発揮している。主な出演先は「ハーフノート」「デイバイデイ」「ガーシュイン」「シングシングシング」など。北海道を愛し、自然を愛し、人を愛する詩心にあふれたピアノは、聴く者の心に深く響く。



飯田雅春 Hida Masaharu  
(音楽家/ベーシスト)

ジャズ・タンゴ・ブラジリアン・クラシック・民俗音楽・現代音楽・即興・エレクトロニクスなど多様な音楽性を基に、ジャンルを越境しながら新たな表現を目指しクリエイター。早稲田大学モダンジャズ研究会在学中からプロとして活動を始めたのち、廣木光一、齋藤徹、藤原幹典、Rod Williams らのレギュラーグループに参加するほか、数多くの音楽家、芸術家と共演。1998年、北海道・小樽に移住。近年は、循環即興音楽集団シクロ、廣木光一 (G) band、羽生一子 (Ds) LittleWing、Mizuho (Vo) サポート、朗読と音楽のコラボレーション「おはなしの森」、ダンサー・田仲ハルトとのデュオ、NuJazz プロジェクト jazzlla などで活動。



館山健二 Kenji Tateyama  
(ドラムス/打楽器奏者)

4歳でオルガンを始める。中学・高校の吹奏楽部でホルンと打楽器を担当。北海学園大学ジャズ研究会所属、卒業後プロ活動を始める。現在、自己のグループをはじめ、福居良 (p) トリオ、豊口健 (p) トリオ、奥野義典 (as) カルテットなどで演奏。北海道を代表するドラマーとして、横濱ジャズブロードワード、室蘭ジャズクルーズ、サッポロ City Jazz 等に出演。向井滋春 (tb)、ケイ赤城 (p) などの道内ツアーメンバーとして活躍。N.Y. Drummers Collective において、Michae Lawren、Duduca Da Fonseca に師事。

## Ken Toyoguchi Piano Concert 2010

# 豊口健 ピアノマジック

## 出演者プロフィール



中嶋和哉 Kazuya Nakajima  
(トランペット奏者)

北海道芸術専門学校音楽器科卒業後、フリーのトランペット奏者としてコンサートなどのバックミュージシャンとして活動する。釧路町市民芸術祭ゲスト出演等、イベント多数出演。札幌市北区民センターでジャズを学ぶ音楽講師をつとめ、区民のためのコンサートを多数開催。YOSAKOI ソーランイリュージョン、小中高校の吹奏楽部指導などジャンルを問わず幅広く活躍。「札幌ジュニアジャズスクール」常任講師、キクヤ LABO MESSE 講師、ライズ音楽院講師。松田次史氏、杉木峯夫氏に師事。



杉田知子 Tomoko Sugita  
(バイオリン奏者)

フェリス女子学院短期大学音楽科卒業。札幌交響楽団のエキストラプレイヤーをはじめ、ソロ・室内音楽を中心に、クラシックからポピュラー・ジャズに至るレパートリーで幅広い活動をしている。1994年、女性メンバーだけの弦楽四重奏団「カルテット・クオーク」を結成/主宰する。NHK「音楽大陸北海道」、STV「日高昭郎ショー」などにも出演。また、身障者施設、介護施設などの訪問演奏も積極的に行っている。2002年、1stCD「Memories of The Northern Lake」リリース。ヤマハ・アベニュー 101、キクヤ・ラボメッセ講師。ホール室内合奏団メンバー。NPO 法人「アーティスト・アコード・アソシエーション」顧問。



尾崎美千代 Michiyo Ozaki  
(ボーカル/声楽家)

国立音楽大学リトミック科卒業後、東京、神奈川、千葉の関東圏を中心に演奏活動を行う。1993年、札幌に拠点を移し「銀巴里」「メロディボックス」「シャンソニエ・アン」等に出演。カンツォーネを中心に歌う。パームホール (札幌市) でコンサート開催。「ゴスペル&ジョージ・ガーシュイン LIVE」などを行う。市立名高大学短期大学部非常勤講師。日本基督教団名高教会オルガニスト。合唱団のピアノ演奏・指揮。声楽およびピアノ講師として活躍。

## 『ポーギーとベス』 PORGY AND BESS G. ガーシュイン作曲・アメリカ黒人文化を描いたフォークオペラ 1935年初演

名曲「サマータイム」で知られるオペラ「ポーギーとベス」は、1925年に発表されたデュボース・ヘイワード作の小説「ポーギー」を原作として、ガーシュインが作曲した全3幕(演奏時間約3時間強)からなるオペラ。

その内容は、白人の警官役以外は全て黒人のみで歌われる(台詞もほとんど黒人特有のスラングで占められる)上に、音楽全体にジャズの雰囲気や漂うという、古典的なヨーロッパ系オペラとは全く違う異色の作品です。1935年にニューヨークのアルヴィン劇場で初演された時は、反響は得られませんでした。のちに評価が高まり、現在ではアメリカ音楽の超古典となっています。

「ポーギーとベス」の珠玉の名曲の数々は、ジャズミュージシャンも実にたくさん取り上げており、エラ&ルイ、マイルス・デイビス、オスカー・ピーターソン、をはじめ枚挙にいとまがありません。

ストーリーは、足の不自由な小柄の青年ポーギーと、腕っ節の強い乱暴な大男のクラウンの娼婦だったベスとの悲しい恋物語。

舞台は、1930年頃の夏、アメリカ南部の漁師町。船着き場で漁師の妻クラウンが赤ん坊を抱きながら歌う「Summertime」から物語が始まります。足の不自由な青年ポーギーは、ナマス横町の賭場にいます。荒くれ者のクラウンがサイコロ賭博のトラブルから相手の男を殺し、情婦のベスを置き去りにして逃走します。

ポーギーは途方にくれていたベスを家に匿います。クラウンが身を隠しているうちに、ポーギーとベスは恋人同士になります。

ある日、島へピクニックに行ったベスは、クラウンに再会します。「お前は俺の女だ! 離れられないぞ!」と脅され、身をまかせてしまい、帰宅が遅れます。ポーギーが事情を聴くと、ベスは「もうクラウンの所には帰らない。私はポーギーと一緒にいたい」と二人で「I Loves You Porgy」を歌います。ポーギーはベスに近づいてきたクラウンを殺してしまいます。事情聴取されている間に、ベスはヤクザに騙されNY行きの船に乗ってしまいます。ポーギーがベスを取り戻すため、町を旅立っていくシーンで幕は閉じます。